2019年
2月
19日
雨水

東風

仙北市立
生保内中学校長室報

〒 014-1201
仙北市田沢湖生保内
字武蔵野105－1

https://www.city.semboku.akita.jp/sc_obochu/index.html
e-mail:obochu@sc.city.semboku.akita.jp　TEL0187-43-1181　FAX0187-43-3632

雨水　うすい

「雨水」は、新暦の2月18・19日ごろで、氷雪は溶け、雨がぬるみ、草木の発芽をうながすころです。

まさに三寒四温、穏やかな日差しも感じられ、なんとなく心揺さぶられる季節を感じる今日、この頃です。気がつけば二月も下旬、卒業式の案内も行き来しています。

三年生の入試手続きも大詰めを迎え、受験の際の面接練習も開始されています。

「志願理由は？」「高校で頑張りたいことは？」「中学校時代に一番打ち込んできたことは？」…、子どもたちの思いとともに、相手に伝えることの難しさを改めて感じる機会でもあります。

何を問われているのかの要旨を的確に理解し、的を射た応答をすることは、一朝一夕ではなかなかできないものです。これまで培った総合的な日常の姿が試される場面でもあります。

限られた時間の中では、仲間との語り合いを大切にしつつ、義務教育の締めくくりができるよう職員共々努めて参ります。

成長とたくましさを示してくれる一、二年生の姿も新たな学校の活力となってくれています。

薬物乱用防止

2月7日、仙北警察署生活安全課少年係担当者による『薬物乱用防止教室』を行いました。

薬物乱用の恐ろしさは、単に乱用者自身の精神や身体上の問題にとどまらず、家庭内の崩壊、暴力などによる家庭の崩壊、殺人、放火等悲惨なことにもなり、社会全体へのの問題発展します。

麻薬や覚せい剤などの薬物は、使用すると、「依存性」になるというのうちにやめられなくなるといいます。

乱用による「幻覚」、「妄想」に伴う自傷、他害の危険性があります。

一度だけのつもりがいつの間にか中毒となり、一度しかの人生が取り返しのつかないことになってしまいます。

このような薬物乱用の恐ろしさを十分に知ることができました。

薬物乱用防止教室でした。

6年生体験入学

2月6日、新年度入学予定の生保内小学校6年生の皆さんが「体験入学」として来校しました。

技術室に入り、中学校担当者より「生保内中学校の一年間の動き」「中学校での生活について」「一日の流れについて」等、説明を受けました。

また、授業体験ということで、数学と体育、他の授業も参観し、つかの間の中学生？体験となったようです。

元気な中に、メリハリのある言動が身に付いてきていることがうかがわれ、頼もしく感じられました。春からの中学校生活での活躍を期待せずにはいられませんでした。

メッセージカード「おもい」

一年生保護者より追加メッセージをいただきました。

○中学校生活にもだいぶ慣れ、制服姿も様になってきました。小学校の時よりも大きくなったランドセル、部活のバックを「重い」と言わずに背負って行く姿に成長を感じます。親の言うことを素直になかなか聞かなくなり、親としては「難しい年頃になってきたな…。」と怒りを感じる事もありますが、それも心が十分に育ってきている証拠。まだまだぶつかることもあると思うけど、全部受け止めるから心身共に大きくなってね。

○入学時よりも中学校生活のリズムに慣れ始め、気の緩みか忘れものも多くなってきたような…。もう一度本人に気合いを入れ直してもらいたいと思う今日このごろ。メリハリつけて、勉強にスポーツに頑張ってもらいたいです。

○進路に向かって頑張れ！